

感染症等の対策に関する留意事項について

1 全競技共通事項

(1) 大会を開催する基準

令和3年5月1日以降、下記①②の全ての基準を満たす場合に大会を開催する。

① 政府が定める感染状況に関する各種基準等、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能である（※）と判断した場合。

（※）大分県内における感染状況の評価「ステージⅠ、Ⅱ」相当を想定。

② その他、大分県知事による休業・外出自粛等の要請が県内向けになされていない場合。

(2) 選手、介助者及びスタッフ等の参加を認める基準

参加に際しては、「体調管理チェックシート」及び「参加同意書」をともに提出すること。

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には必ずマスクを着用すること。）

③ 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り込まれている通知サービスを活用すること。

④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との間隔（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）

⑥ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

⑦ 感染防止のために主催者が決定したその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

2 会場内について

(1) 競技エリアについて

- ① 競技固有の特性により必要となる対策は、各中央団体等が定めるガイドラインに従い実施すること。

(2) 受付について

- ① 受付には、手指消毒用アルコールを設置すること。
- ② 体調管理チェックシートにより競技会実施2週間前からの健康状態を確認すること。
選手、介助者、スタッフ等（競技役員、ボランティアなど）については、下記アからエまでの基準に一つでも該当する場合、大会への参加を認めない。
 - ア 体調管理チェックシートを提出できない場合。
 - イ 1の体調管理チェックシートにおいて、直近の2週間に、新型コロナウイルス感染症の疑い症状が見られる場合。
 - ウ 大会当日時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者。
 - エ 大会当日の受付において実施する検温の結果、37.5度以上または平素の体温よりも高いと認められる場合。
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板等で遮蔽する、またはフェイスシールド等を準備し、対応すること。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑤ 受付時又は入場時には、非接触型体温計等による検温を受けること。

(3) 大会観戦、介助者について

- ① 全ての競技において、無観客とする。ただし、参加選手1名につき原則1人の介助者の入場を認める。介助者は、大会当日に受付で体調管理チェックシートを提出し、IDを受取り、常時携帯すること。
- ② 競技役員、補助員等の座席、観客席は密な状態とならないよう席を一つ以上空けること。

(4) 飲食や更衣室等について

- ① 気温が高い中での大会であることや選手の運動不足といった事態も考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給を行うこと。
- ② 飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。

- ③ 更衣室の利用に当たっては、短時間での利用とし、一斉に利用しないこと。競技に使用した衣類は、直接床やイスなどに置かず、ビニール袋に入れ持ち帰ること。
- ④ 会場各所やトイレ等に液体石けんや手指消毒液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。ペーパータオルは準備しないので、必ずタオル等を準備すること。
- ⑤ 飲食する場合は、対面や密集を避け、前後の間隔を十分取ること。また、食事中の会話についても控えること。
- ⑥ ゴミは各自必ず持ち帰ること。

3 報道について

- ① 体調管理チェックシートにより競技会実施2週間前からの健康状態を確認すること。
- ② 入場時には、非接触型体温計等による検温を受けること。
- ③ 会場内では、原則としてマスクを着用すること。
- ④ 取材は事前申請とし、取材日ごとに受付を行うとともに、報道 ID と自社腕章を着用すること。
- ⑤ 取材人数は、スチールのみの場合は2名まで、動画の場合は3名までとする。
- ⑥ 囲み取材・インタビューは、競技者同意のもと、ソーシャルディスタンス（競技者と取材者の距離）を確保し実施すること。

以上、コロナ禍の中での競技開催となりますので、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。